

仮住まいの地

土地の名が示すとおり由緒ある寺が多い寺泊。奈良の高僧行基が開いたと言われる西生寺をはじめとした古刹や良寛ゆかりの史跡が点在している。



諸国放浪を終えた良寛が最後に戻った最初の宿「郷本空庵」や、少年時代学んだ塾・三峰館の師・大森子陽を偲ぶ「弔子陽先生墓」の詩碑など、寺泊には良寛ゆかりの史跡が数多く残されている。破れ板に囲まれた粗末な「郷本空庵」で半年ほど暮らしたのち、各地を転々とした。四十五歳の頃に再び寺泊の照明寺境内の「密蔵院」に仮住まいした良寛。妹むらの嫁ぎ先からも近い密蔵院での暮らしが気に入ったとみえ、生涯に三度ほどここで暮らした。詩作にふけり人に乞われるままに自由で滋味あふれる書を残したこの地には、身分や職業を超越し人々と交流した良寛らしいエピソードが数多く残っている。

⑪ 照明寺 密蔵院

真言宗照明寺の境内には、簡素至極な風情をたたえる密蔵院がある。良寛は生涯のうち3度仮住まいした。良寛の詩歌碑と像がある。



⑫ 照明寺から望む日本海

よく晴れた日の日本海はとても爽やかであり、その潮風は良寛が仮住まいした時代と同様に心地よい。



⑬ ウォーキングロード

全長4.3kmのウォーキングロードは徒歩で一周約80分。コースの近くに聚感園や良寛ゆかりの照明寺密蔵院などがある。



⑭ 魚の市場通り

県内外の観光客で連日にぎわう人気の観光スポット。新鮮で安い魚介類などが並ぶ。



⑮ 聚感園

菊屋五十嵐家の邸宅跡。鮮やかな緑と石の調和が見事な園内で散策が楽しめる。



⑯ 郷本空庵跡

円通寺から故郷に戻った良寛の最初の仮住まいがあった場所。曹洞宗玄徳寺の境内に良寛空庵跡碑と詩碑がある。



⑰ 夏戸の本光寺

浄土真宗の寺。胃腸薬金証丸の製造販売をしていた。晩年の良寛もこの薬を服用していた。良寛の歌碑がある。



⑳ 良寛の妹むらの墓(法福寺)

寺泊に嫁いだ妹のむらは良寛が五合庵などに住んでいた頃、身の周りの世話をした。日蓮宗法福寺に墓がある。



㉑ 西生寺

日本最古の弘智法印の即身仏で知られる真言宗の古刹。一時期良寛が仮住まいした。弘智法印即身仏のご開帳は拝観料が必要。



㉒ 野積の太子岩(立岩)

かつては海中にあったといわれる巨岩。太子岩の前には良寛の歌碑がある。



㉓ 大森子陽の墓

大森子陽は良寛が少年時代に学んだ三峰館の師。寺泊当新田に墓がある。良寛の詩碑がある。

